

3-2-4 施工計画／調達計画

3-2-4-1 施工方針／調達方針

本計画は、施設建設工事と医療機材の供給・据付工事等からなり、本計画における日本側協力の範囲においては、日本政府の無償資金協力の枠組に従って実施される。

本計画の実施については、本計画が両国政府において承認され、交換公文(E/N)が署名された後、正式に実施されることとなる。その後「ホ」国側と日本国法人のコンサルタントがコンサルタント契約を締結し、計画の実施設計作業に入る。実施設計図書完成後入札が実施され、入札により決定した日本国法人の施工業者及び医療機材納入業者によって、施設建設工事と医療機材の納入と据付等が実施されることになる。

なお、事業実施における基本事項及び配慮を要する点は次のとおりである。

(3) 事業主体

本計画の事業主体は「ホ」国保健省であり、「レ」病院、第3保健地域がその責任においてそれぞれ、「レ」病院母子棟、救急クリニック(チョロマ、ヴィジャヌエバ)及び納入機材の運用、維持、管理にあたる。

(4) コンサルタント

両国政府による交換公文(E/N)締結後、日本国のコンサルタントは直ちに我が国の無償資金協力の手続きに従い、「ホ」国側事業主体とコンサルタント契約を結ぶ。

この契約に基づきコンサルタントは、事業主体である「ホ」国政府を支援する立場として、次の業務を実施する。

- 1) 実施設計： 実施設計図書(建設・医療機材調達にかかる仕様書およびその他の技術資料)の作成
- 2) 入札： 施工業者・医療機材納入業者の入札による選定、および調達契約に関する業務協力
- 3) 施工監理： 施設建設工事、医療機材納入業務の監理および機材の据付・操作保守指導の監理

実施設計とは、本基本設計調査に基づいて建築計画、医療機材計画の詳細を決定し、建設・医療機材調達にかかる仕様書、入札指示書、建設工事・資機材調達契約書案等からなる入札図書を作成することである。

入札に際しては、施工業者・医療機材納入業者の入札による選定への立ち会い、および調達契約に必要な事務手続き、日本国政府への報告等に関する業務協力を行う。

施工監理とは、施工業者・医療機材納入業者の業務が契約書通りに実施されているか否かを確認し、契約内容の適正な履行を確認する業務である。また事業を実施促進するため、公正な立場に立って指導、助言、調整を行うことであり、その内容は次の業務より成る。

- 1) 施工業者・医療機材納入業者より提出される施工図、機材仕様書、その他の書類などの検査および承認手続き
- 2) 納入される建設資機材の品質、性能の出荷前検査および承認、納入される医療機材と契約図書との整合性の確認および承認
- 3) 建設資機材・医療機材の供給および据付工事・取扱い説明の監理
- 4) 工事進捗状況の報告
- 5) 施設・医療機材引き渡しの立ち合い

上記の業務を遂行するほか、コンサルタントは日本国政府関係者に対し、本計画の進捗状況、支払手続き、完了引き渡し等に関する報告を行う。

(5) 施工業者および医療機材納入業者

施工業者は、一定の資格を有する日本法人の建設会社の中から、入札参加資格制限付き一般競争入札により選定される。医療機材納入業者については、現地に支店または連絡事務所を有する日本法人の商社を対象に同様の手続きにて請負業者を選定する。施工業者および医療機材納入業者は、契約に基づき施設の建設と必要な建設資機材・医療機材の供給、搬入、据付を行い、「ホ」国側に対し当該機材の操作と維持管理に関する技術指導を行う。また、機材引き渡し後においても、継続的に主要機材のスペアパーツおよび消耗品の保証期間中における無償供給または有償供給、技術指導を受けられるよう、メーカー代理店との協力のもとに後方支援を行う。

(6) 国際協力事業団

国際協力事業団は、本計画が無償資金協力の制度に従って適切に実施されるよう確認・調整する。また、必要に応じて事業主体と協議し、本計画の実施促進を行う。

(7) 施工計画について

施工計画に関する検討はコンサルタントと「ホ」国側実施機関関係者との間で実施設計期間中に実施する。また、日本側と「ホ」国側双方の負担工事を明確にし、負担工事の着手時期および方法を各工事項目ごとに確認し、双方負担工事が本報告書の実施スケジュールに基づいて円滑に遂行されるよう協議を行う。「ホ」国側負担工事は「レ」病院母子棟および救急クリニック建設工事開始以前、予定通りに「ホ」国側で実施されなければならない。

3-2-4-2 施工上／調達上の留意事項

本計画施工上の留意事項としては下記のような事項があり、これらに配慮した施工計画を策定する必要がある。

(1) スケジュール管理について

「レ」病院母子棟の建設は、既存病院施設内の工事となるため、既存病院の診療活動を妨げ

とならぬことや、患者や医療従事者の安全確保に充分配慮する。また、既存施設への影響を最少限とすべく、「ホ」国関係者とコンサルタントが、相互の協力体制を通じて建設工事・医療機材据付工事間での綿密なるスケジュール管理を行う必要がある。

(2) 技術者の派遣

調達された医療機材が据付後に常に正常に作動し、適切な診断と治療に寄与するために、機材の正しい操作方法や維持管理の方法を取得することは極めて重要なことである。そのため、主要医療機材の引き渡しに際して西語による取り扱い説明書(操作技術、簡易な修理技術や点検方法等)を添付する必要がある。また、主要機材の据付作業、取り扱い説明および維持管理指導のために製造業者または現地代理店の技術者の派遣が必要となる。

3-2-4-3 施工区分／調達・据付区分

本計画の事業は、日本国と「ホ」国との相互協力により実施される。本計画を日本国政府の無償資金協力によって実施される場合、両国政府の工事負担範囲は下記の通りとするのが妥当である。

(1) 日本国政府の負担事業

日本国側は、事業主体とコンサルタント・日本側業者との契約に基づいて実施される、コンサルティングおよび施設建設・医療機材調達に関する以下の業務の対価を負担する。

1) コンサルタント業務

- ・ 本計画対象施設・医療機材の実施設設計図書および入札指示書の作成
- ・ 施工業者・医療機材納入業者の選定および契約に関する業務協力
- ・ 施設建設業務、医療機材納入業務の監理

2) 施設建設業務と医療機材の調達および据付

- ・ 本計画対象施設の建設
- ・ 本計画対象建設資機材、医療機材の調達および対象施設までの輸送と搬入
- ・ 本計画対象医療機材の据付指導および試運転調整
- ・ 本計画対象医療機材の運転、保守管理方法の説明・指導

(2) 「ホ」国政府の負担事業

「ホ」国政府は、建設敷地の整地、および建設敷地への電力、上水道、電話の必要な設備工事と免税措置等に関する以下の業務を負担し、実施する。

1) 建設敷地の取得ならびに整地

- ・ 建設敷地取得と建設の妨げになる樹木の伐採(根を含む)、除草、整地

- 2) 仮設電力、給水の確保
- 3) 建設実施に必要な諸情報の提供
- 4) 外構工事
 - ・ 敷地内の植栽工事等
 - ・ 敷地内(日本側工事範囲外のエリア)の雨水処理
- 5) 建設敷地への基幹設備工事
 - ・ 給水(引込み配管)
 - ・ 排水(浄化槽以降の配水管路の整備)
 - ・ 電力(敷地外から所定位置迄の引込み)
 - ・ 電話(MDF までの局線引込み)
- 6) 現有医療機材の移設
- 7) 家具及び備品の移設または購入
 - ・ 事務用家具、及び備品、寝具、厨房用什器備品(移設又は新規購入)
- 8) 免税措置
 - ・ 「ホ」国が課す関税・国内税の免除

3-2-4-4 施工監理計画／調達監理計画

(1) 施工監理方針

日本国側は、事業主体とコンサルタント・日本側業者との契約に基づいて実施される、コンサルティングおよび施設建設・医療機材調達に関する以下の業務の対価を負担する。

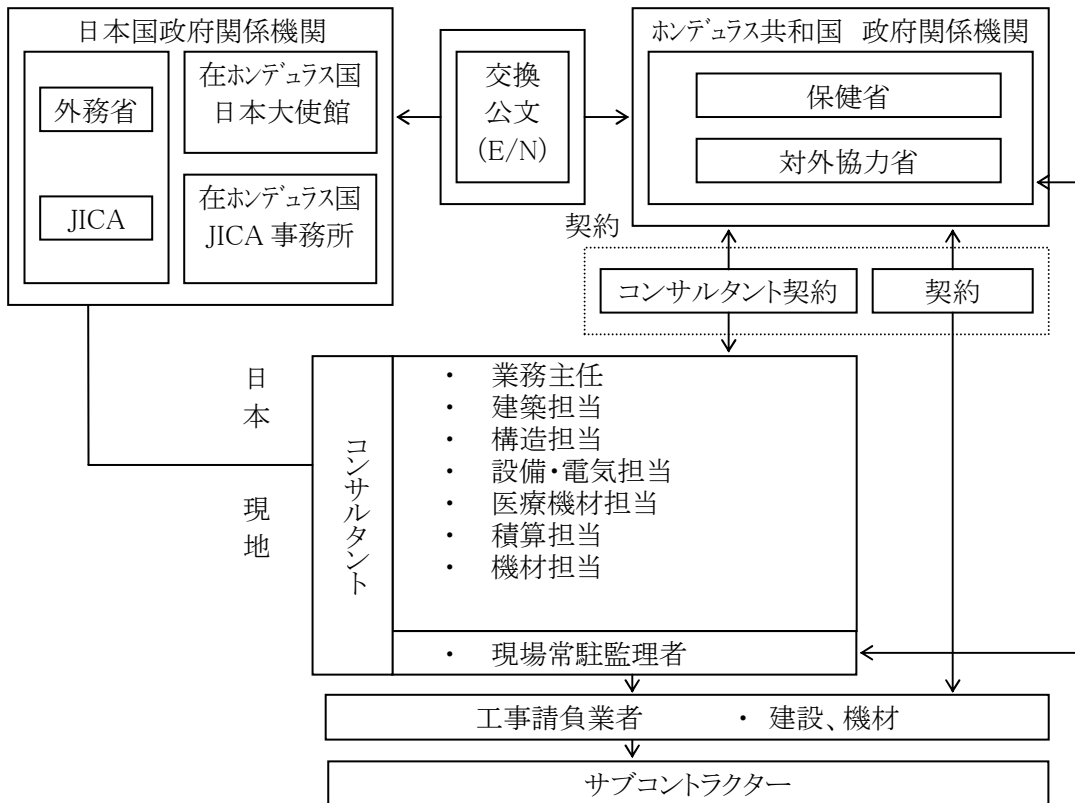
- 1) 両国関係機関の担当者と密接な連絡を行い、遅滞なく施設建設・機材整備の完了を目指す。
- 2) 施工業者、医療機材納入業者とその関係者に対し、公正な立場に立って迅速かつ適切な指導・助言を行う。
- 3) 機材据付および引き渡し後の機材管理について適切な指導・助言を行う。
- 4) コンサルタントは建設工事および機材据付が完了し、契約条件が遂行されたことを確認のうえ、施設の引き渡しに立ち合い、「ホ」国側の受領承認を得て業務を完了させる。

(2) 施工監理計画

本計画は工事項目が多岐にわたる事から、常駐監理者(建築担当)1名を置き、工事の進捗状況に合わせて下記の技術者を適時派遣する。

- ・ 業務主任(全体調整、工程監理)
- ・ 建築担当(施工方法、設計意図・施工図・材料仕様等の確認)

- ・ 構造担当 (地盤確認、基礎工事、躯体工事)
- ・ 機械設備担当 (供給処理設備、空調・給排水衛生設備等)
- ・ 電気設備担当 (供給処理設備、受変電設備等)
- ・ 医療機材担当 (医療機材据付指導、設備との調整等)



3-2-4-5 品質管理計画

建設工事の施工監理にあたっては、所定の品質水準を確保するため、下記のような基準に基づいて施工監理を実施する。これらの基準は原則として「ホ」国関連官庁、日本の規格に基づく。

表 3-19 品質管理基準等

	主な品質管理基準			備考
	項目	目標値	検査方法	
土工事	法面角度 床精度 地業高さ 捨コンクリート高さ 平板載荷試験	JASS3 による JSF T25	目視	コンサルタントは施工者に検査項目、目標値、検査内容、試験方法、養生方法、施工方法を記した施工要領書を事前に作成させて確認する。
鉄筋工事	鉄筋かぶり厚	JASS5	目視・スケール、測定	同上
	加工精度	JASS5		
	引張り試験	JASS5	JISZ2241	
コンクリート工事 (生コンクリート)	圧縮強度	JASS5	JISA1108	同上
	スランプ値	JASS5	JASS5 T-503	
	塩化物量	JASS5	JASS5 T-502	
組積工事	圧縮強度 その他の材料 (セメント、鉄筋)	JISA5406	メーカーでの試験立合い 目視	同上
左官工事 塗装工事 屋根防水工事 建具工事	材料・保管方法・施工法・調合・塗り厚・養生・施工精度			同上
給排水工事	給水管 排水管	加圧テスト 満水テスト	立合い確認	同上
電気工事	電線	絶縁テスト 通電テスト	同上	同上

3-2-4-6 資機材等調達計画

(1) 建設

1) 労務

「ホ」国の建設産業はいまだに過渡期にあり、一般労働者と比べると建設関係の熟練工が不足している。そのため「ホ」国内の建設工事において品質にバラツキが生じており、本計画では品質確保のため、各工事の施工リーダーとしての熟練工の確保が必要である。「ホ」国では慢性的に労働力供給は過多となっており、未熟練一般労働者の調達は容易であるので、地域の活性化、雇用促進を考慮し、極力各地域サイト近くでの労務調達が望ましい。

2) 建設用資材

* 国内生産建設資材

「ホ」国で生産されている建設資材は砂利、砂、コンクリートブロック、木材、セメントおよび一般塗料程度である。

* 輸入建設資材

鉄筋、鉄骨、内外装材、高級塗料などの建築資材、および電気・給排水設備資材は、隣国諸国からの輸入品が、恒常的に国内市場に出回っている。「サ」市はこれら輸入建設資材の調達

の中心地でもあり、通常その価格は「サ」市内渡し価格である。

＊ 日本調達建設資材

吹付けタイル、建具金物は、現地にて品質の安定した製品の入手が困難なため日本調達とする。

品質、供給量の安定性および規格条件で現地調達が困難な資材、日本から調達したほうが輸送費を含めて価格が安く入手できる資材は日本から調達する。工事用資材の調達区分図は以下の通りである。

表 3-20 資機材調達区分

資材名	現地調達	日本調達	第3国調達	調達理由	備考（輸送ルート他）
(建築資材)					
セメント	○				サン・ペドロ・スーラ近郊のセメント工場生産
生コンクリート	○				サン・ペドロ・スーラ近郊のプラントで製造
鉄筋	○				グアテマラ又はキューバからの輸入資材を現地調達
型鋼	○				グアテマラからの輸入資材を現地調達
合板	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の合板工場加工生産
木材	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の木材工場加工生産
屋根波型スレート	○				グアテマラからの輸入資材を現地調達
スレート平板	○				グアテマラからの輸入資材を現地調達
タイル	○				USAからの輸入材を現地調達
コンクリートブロック	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の工場生産
建具金物		○		品質が不安定	船積港：横浜、荷揚港：[ホ]国サンロレンソ港内陸輸送：国道5号線をトラック輸送、所要時間約1日
木製建具	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の工場生産
鋼製建具	○				エルサルバドル又はメキシコからの輸入資材を現地調達し加工
塗料	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の工場生産
吹き付けタイル		○		品質が不安定	日本から調達（輸送ルート他は上述）
(電気設備資材)					
電線、ケーブル		○		価格	日本から調達（輸送ルート他は上述）
照明器具	○				米国からの輸入資材を現地調達
コントロールパネル弱電機材、AVR 他		○		品質が不安定	日本から調達（輸送ルート他は上述）
その他	○				近隣国からの輸入資材を現地調達
(給排水設備資材)					
ビニール管	○				サン・ペドロ・スーラ近郊の工場生産
衛生陶器	○				カナダからの輸入資材を現地調達
銅管		○		価格	日本から調達（輸送ルート他は上述）
FRPタンク		○		品質が不安定	日本から調達（輸送ルート他は上述）
その他	○				近隣国からの輸入資材を現地調達
(空調設備資材)					
冷媒銅管		○		価格	日本から調達（輸送ルート他は上述）
その他	○				近隣国からの輸入資材を現地調達
(医療ガス設備)					
医療機器エアコンプレッサー 吸収ポンプ		○		品質が不安定	日本から調達（輸送ルート他は上述）
その他	○				近隣国からの輸入資材を現地調達

(2) 医療機材

本協力対象事業で計画される医療機材の中で、機材に特有な交換部品・消耗品あるいは技術的なサービスを必要とする機材については、「ホ」国に代理店または支店を有する製品を選定する。また、本協力対象事業における医療機材の調達は日本国製品または「ホ」国製品を原則とするが、下記の条件に照らして本計画実施上有利と判断される場合は、日本国政府の承認を得た上でDAC等の第三国製品も調達対象に含めうることとする。

- ・ 調達機材が日本で製造されていないもの
- ・ 日本で製造されているが、調達対象を日本に限定することにより、公正な入札が確保されない恐れがあるもの
- ・ 輸送費が著しく高くなるもの、協力効果を損なう恐れがあるもの、または代理店が存在しない等の事情により十分な維持管理が困難となるもの

本協力対象事業において、第三国製品として想定される機材および現地代理店または支店が必要となる機材については、付属－4「計画機材リスト」に示す。

(3) 輸送方法と引き渡し地点

資機材調達後の輸送については、医療機材、建設資材共、基本的にコンテナ積み海上輸送を原則とする。「ホ」国の主要貿易港は、太平洋側のサンロレンソ港である。現在、日本よりサンロレンソ港への定期配船はない。通関はサンロレンソ港で行い、各サイトまで車輛による内陸輸送を行う。救急クリニック(チョロマ、ヴィジャヌエバ)向け資機材はサンロレンソ港にて仕分け作業を行う。計画機材の車輛はサンロレンソ港渡しとし、対象施設までは自走とする。現地または第三国調達資機材はサン・ロレンソ港にて仕分け作業を行いサイトへ搬送する。

以下は輸出通関以降の各ルートของ 所要日数である。

- ・ 日本(横浜港)積み出しで専用コンテナ積みの場合

輸出通関	3日間	
本船荷役	2日間	
海上輸送	30日間	(横浜港 →サンロレンソ港)
輸入通関／荷捌	5日間	(サンロレンソ港保税倉庫)
内陸輸送	1日間	(サンロレンソ港保税倉庫→サイト)
計	41日間	

- ・ 米国(サンフランシスコ港)積み出しでコンテナ積みの場合

輸出通関	2日間	
本船荷役	7日間	(サンフランシスコ港→ロングビーチ港回送を含む)
海上輸送	15日間	(ロングビーチ港 →サンロレンソ港)
輸入通関／荷捌	5日間	(サンロレンソ港保税倉庫)
内陸輸送	1日間	(サンロレンソ港保税倉庫→サイト)
計	30日間	

3-2-4-7 ソフトコンポーネント計画

(1) ソフトコンポーネント導入の理由

計画対象地域となる「サ」市においては第3保健地域事務所メンテナンス部が機能していないこと、それを受けて「マ」病院及び「レ」病院のメンテナンス部門が仮に対応していること、DIM (DEPARTAMENTO ING. MAINTENIMIENTO、保健省・病院局直轄の技術部門)も第3保健地域事務所を経由せず業務を行っていること等、維持管理体制が複雑であり未整備と言える。また、ホンデュラス国保健省所属医療施設に配置されている医療機材は各施設または保健省が独自に調達したものと、海外からの複数の援助によるものが混在しており、導入年度、機材内容もまちまちである。従って、常に機材台帳の更新を行わなければならないが、現実的には各医療施設、保健地域事務所等、関係者がその必要性を認識しておらず、正確な台帳はない。さらに、修理・予防メンテナンスにかかる書式(機材台帳、各種書式等)が整備されておらず、機材の状況を確実に把握できる状況にはない。

本協力対象事業では、医療機材を有効且つ長期的に活用するために、医療機材の維持管理体制の明確化と維持管理手法の確立が必要不可欠と考え、対象となる「レ」病院メンテナンス部門と新病院母子棟及び新救急クリニックに配置されるスタッフに対しソフトコンポーネントによる技術支援をはかるものである。

(2) 成果

1) 初期トラブルの低減

機材引渡直後の医療機材トラブルは機材自体の故障よりも使用者の誤使用や使用方法の未習得による場合が多い。機材の使用方法については医療従事者に対して据付時に納入業者によって実施されるが、本協力対象事業は新設の母子棟、救急クリニックに対する機材整備であり、据付後、実際に開院・使用するまでの期間が空くこと、据付時点では新施設の組織が確定していない可能性が高いことが予想される。このため据付後の適当な時期に技術者が使用方法の補足説明を行ったり、日常点検や清掃方法を指導し、定期的にその実施状況をモニターすることが初期トラブルの低減のために必要である。

本協力対象事業では医療機材の使用者が行うべき日常点検・清掃などを項目とするチェックリストの作成支援、使用方法の説明支援、日常点検実施のモニタリングを実施することにより各種の初期トラブルの低減を図る。

2) 維持管理体制や系統の明確化。機材台帳、修理履歴票などの整備と共通化

医療機材台帳と機器履歴書を作成して管理することは維持管理の基本ともいえる。本来ならば第3保健地域事務所が第3保健地域全体の機材状況を把握しなくてはならないが、人材面からみて、現状では「レ」病院、救急クリニック、DIM といった関係者が機材の状況を把握することが必要となる。また現状では十分に機能していない修理時の対処方法について明確な流れや維

持管理体制の明確化を行うことにより確実な管理体制を整える必要がある。

本協力対象事業においては機材台帳、機器履歴票などの維持管理書類のフォーム作成支援と、各「レ」病院母子棟、救急クリニックでの作成支援により維持管理に必要な基本的データの蓄積、機材の維持管理に対する担当部署と担当範囲や故障時の依頼手順など維持管理体制の明確化を図る。

3) 維持管理業務の継続化支援

日常点検、機材管理台帳の見直し等は継続することが重要であり、実施状況の管理が求められる。

本協力対象事業においては、維持管理に必要な書式を整備した後、その書式の活用状況をモニタリングし、適宜指導を行う。

(3) 業務内容

業務の詳細については付属－6「ソフト・コンポーネント計画書」を参照。

3-2-4-8 実施工程

(1) 事業実施スケジュール

本計画は日本国政府の無償資金援助の枠組みに従って実施される。

本計画において対象「レ」病院母子棟と2救急クリニックの計3箇所の実施にあたっては、単年度実施とするため、2期分けとした。「レ」病院母子棟建設を第1期として平成14年度に行い、救急クリニックの2箇所を第2期として平成15年度で行う。

供与機材については対象保健センターの竣工に合わせて供与することとし、建設と同様に2期分けとする。

	<u>1 期</u>	<u>2 期</u>
① 交換公文締結後入札まで	6.0 ヲ月	5.5 ヲ月
② 工事の着工、機材の据付及び操作・保守管理指導	15.0 ヲ月	12.0 ヲ月
合 計	21.0 ヲ月	17.5 ヲ月

(2) 事業実施工程表

次に本計画の事業実施工程を示す。

表 3-21 実施工程表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計		
第1期	実施設計・入札	■	現調			国内作業 現地確認		入業契									(計 6.0 カ月)		
	施工	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
	機材調達															■	■	(計 15.0 カ月)	
	ソフト															■	■	(計 2.0 カ月)	
第2期	入札準備・入札	■	現調			国内作業 現地確認		入業契										(計 5.5 カ月)	
	施工	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	機材調達																■	■	(計 10.0 カ月)
	ソフト															■	■	(計 2.0 カ月)	

3-3 相手国側分担事業の概要

3-3-1 手続き事項

(1) 救急クリニックの用地取得

建設予定地の所有権を、E/N 締結時までにはチョロマ市、ヴィジヤヌエバ市から保健省へ移転する。(2001年11月に着手済)

(2) 免税措置

認証された契約により行われる物品の納入、業務の提供に関して「ホ」国が課す関税、国内税並びに種々の財務上の負担から、日本人就業者を免除する。

(3) 便宜供与

日本から輸入される資機材の迅速な通関および内陸輸送手続きに対する便宜を供与する。

事業実施に関連して業務遂行のために「ホ」国に入国し、滞在する日本人に対して入国および滞在に必要な便宜を供与する。

(4) 各種許可

本計画実施に必要なとされる各種建設許可等の取得と、支払授權書を発給する。

(5) その他

日本国側負担以外のすべての必要経費(銀行取極に係る費用等)を負担する。

3-3-2 「ホ」国側分担事業

「レ」病院母子棟

建設予定地にある旧 HIV 病棟と倉庫を、E/N 締結時までには解体・撤去する。(2001 年 12 月に着手済) また、着工以前に設計地盤に合わせた造成工事を完了する必要がある。以上の工事は特殊な技術は不要であり、高額とならぬことから「ホ」国側で充分負担できる工事である。

チョロマ救急クリニック

建設予定地は前面道路より低いため、土地の造成が必要となる。また、幹線道路から敷地までの約 200m が未舗装であるため、砂利敷による整備を行う必要がある。インフラは上下水、3相電源を用意する必要があるが、敷地近辺まで本管・本線が敷設されている。以上の工事を着工までに完了する必要があるが、特殊な技術は不要であり、高額とならぬことから「ホ」国側で充分負担できる工事である。

ヴィジャヌエバ救急クリニック

建設予定地は前面道路より低いため、土地の造成が必要となる。また、幹線道路から敷地までの約 80m が未舗装であるため、砂利敷による整備を行う必要がある。以上の工事を着工までに完了する必要があるが、特殊な技術は不要であり、高額とならぬことから「ホ」国側で充分負担できる工事である。

3-4 プロジェクトの運営・維持管理計画

本計画の監督機関は、「ホ」国保健省サービス総局であるが、引渡し後の運営、維持管理は、「レ」病院母子棟は同病院、2箇所の救急クリニックは第3保健地域事務所が行うことになる。人材の採用・育成や予算措置は保健省の担当となる。

「レ」病院の保守管理部門には技師 5 名と保守管理要員 10 名の計 15 名が配属されており、施設・機材の保守点検、維持管理を担当している。また、各々の救急クリニックには、技師が 3 名配置される予定である。機材の修理は、「レ」病院のメンテナンス部ならびに DIM(保健省直轄の技術部門)が対応する。

3-5 プロジェクトの概算事業費

3-5-1 協力対象事業の概算事業費

本協力対象事業の実施に必要な事業費は総額で約 14.06 億円となる。内訳は下記に示す積算条件によれば次のとおり見積もられる。

(1) 日本側負担事業費

(単位:百万円)

区 分	1 期	2 期	合計
(1)建設費	591.0	267.5	858.5
ア. 直接工事費	(394.6)	(173.4)	(568.0)
イ. 共通仮設費	(31.2)	(16.6)	(47.8)
ウ. 現場経費等	(121.8)	(58.5)	(180.3)
エ. 一般管理費等	(43.4)	(19.0)	(62.4)
(2)機材調達費	220.0	118.7	338.7
(3)設計監理費	116.9	84.7	201.6
合 計	927.9	470.9	1,398.8

(2) ホンデュラス国負担経費 287万レンピーラ (約 23百万円)

① 土地取得・設備費 140万レンピーラ (約 11百万円)

② 取付け道路舗装費 58万レンピーラ (約 5百万円)

③ 電気・水道・電話引込費 10万レンピーラ (約 1百万円)

④ その他 79万レンピーラ (約 6百万円)

(3) 積算条件

1) 積算時点 2001年12月 (平成13年12月)

2) 為替交換レート 1US\$ = 122.87円

1レンピーラ = 7.89円

3) 施工期間 2期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事、機材調達の期間は、施工工程に示したとおり。

4) その他 本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い、実施されるものとする。

3-5-2 運営・維持管理費

本協力対象事業を実施した場合、新設「レ」病院母子棟および2救急クリニック(チョロマ、ヴィジャヌエバ)にかかる年間の運営・維持管理費は、「ホ」国より以下の通り提示された。

表3-22 施設の運営予算(保健省資料)

(単位レンピーラ)

項目	レオナルド・ マルチネス病院母子棟	救急クリニック 1箇所当たり
人件費	21,652,141	10,600,434
事務運営費	3,949,541	80,148
医薬物品・一般サービス費	(上に含む)	468,000
資機材購入費	(上に含む)	294,000
専門・技術サービス費	(上に含む)	20,000
光熱費	535,961	75,432
医療機材維持費	1,507,617	533,504
合計	27,645,260	12,071,518

本件の、保健省病院全体の予算に占める割合は約 4.0%であり、また類似案件である首都圏病院網整備計画(1998 年)でも、保健省より運転資金は充当されており、本件は十分に維持管理可能であると考えられる。

「レ」病院母子棟および救急クリニック2箇所にかかる年間運営予算:約 51.79 百万レンピーラは、第3保健地域における全病院の年間運営予算合計約 279.41 百万レンピーラ(2001 年)の 17.06%(=51.79÷(279.41+12.1×2))である。本協力対象事業にかかる運営・維持管理予算については、「ホ」国保健省および第3保健地域事務所により最優先されることとなっており、十分に対応できるものと判断される。

3-6 協力対象事業実施に当たっての留意事項

(1) 着工以前の「ホ」国側分担事業

- ・救急クリニックの建設予定地の所有権をチョロマ市、ヴィジャヌエバ市から保健省へ移転する。
- ・建設予定地の造成ならびに、インフラの整備を完了する。

(2) 竣工引渡し後の留意事項

- ・必要な医療スタッフ及び予算が確保されること。
- ・対象施設により、施設・医療機材の適切な運営維持管理が継続的に実施されること
- ・一般市民に対する情報発信(保健医療サービス体制に関する認知度の向上)が継続的に実施されること。